

令和7年度 第1回佐賀市防災会議

令和7年5月22日

1 議事

- 市の取組について
「地域で支える水の恵みと安全」
- 佐賀市地域防災計画の修正について
- 今後の気象状況について

2 その他

1 議事

- 市の取組について
「地域で支える水の恵みと安全」
- 佐賀市地域防災計画の修正について
- 今後の気象状況について

2 その他

地域で支える
水の恵みと安全
～ 流域治水 ～

令和7年5月22日
第1回佐賀市防災会議

水網と都市の成長

昭和23年

約70年

令和3年



- ✓ 2,000km以上の水路網
- ✓ 2,000か所以上の樋門

低平地の平野に
“水の恵み”と“治水の効果”
を
行き渡らせてきた

川を愛する市民で創る水の流れ

「川を愛する週間」 8万以上参加／毎年

昭和56年から続く、年2回（春・秋）行う市民総出の河川清掃



市民自ら胴長を着て水路に入り、
ごみ拾い、除草、泥上げなどを行う。

流下能力の向上

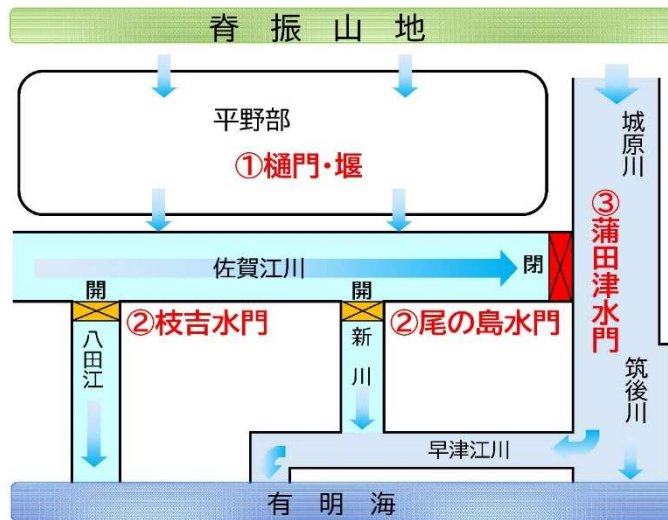


水辺空間の保全

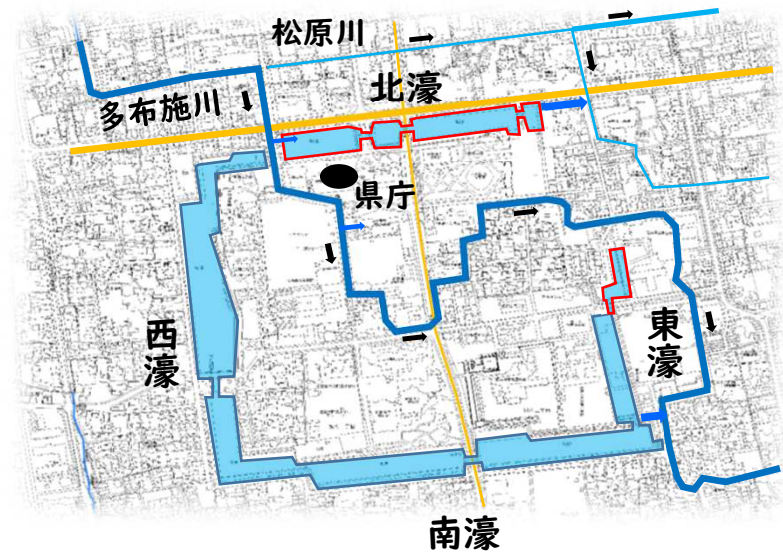


「既存施設」活かし、治水効果を早期に

樋門の連携操作 ▶ 50万トン以上



お濠の活用 ▶ 約5.8万トン



クリーク事前排水 ▶ 約350万トン



田んぼダム ▶ 約39万トン



大雨時に水路への水の流出を抑制し田んぼがダムの役割!

“流域治水 ver.SAGA”を前へ



流域治水



「佐賀市排水対策基本計画」見直し中

1 議事

- 市の取組について
「地域で支える水の恵みと安全」
- **佐賀市地域防災計画の修正について**
- 今後の気象状況について

2 その他

佐賀市地域防災計画 修正の概要

1 国の防災基本計画の修正に伴うもの

ア 最近の施策の進展等を踏まえた修正

- (1) 水害対策の強化
 - ・道路のアンダーパス冠水等を踏まえた対策の強化
- (2) 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援
 - ・自治体、保健師、福祉関係者等の中で連携した状況把握の実施
 - ・在宅避難者、車中泊避難者に対する支援に係る拠点の設置や、被災者支援に係る情報の提供

イ 令和6年能登半島地震を踏まえた修正

- (1) 被災地の情報収集及び進入方策
 - ・無人航空機、衛星インターネット等の活用
 - ・道路管理者と生活インフラ事業者との連携強化
- (2) 自治体支援
 - ・応援職員等の宿泊場所として活用可能な施設やスペース等のリスト化
- (3) 避難所運営
 - ・パーティション、段ボールベッド等の避難所開設当初からの設置
 - ・トイレカー等のより快適なトイレの設置への配慮

2 佐賀県地域防災計画の修正に伴うもの

- ・孤立時の状況把握などについて関係機関と連携強化
- ・「避難生活支援リーダー／サポーター研修」等の拡充

最近の施策の進展等を踏まえた修正

(1) 水害対策の強化

アンダーパス部等の道路冠水を防止するため、排水施設及び排水設備の補修等を推進する。

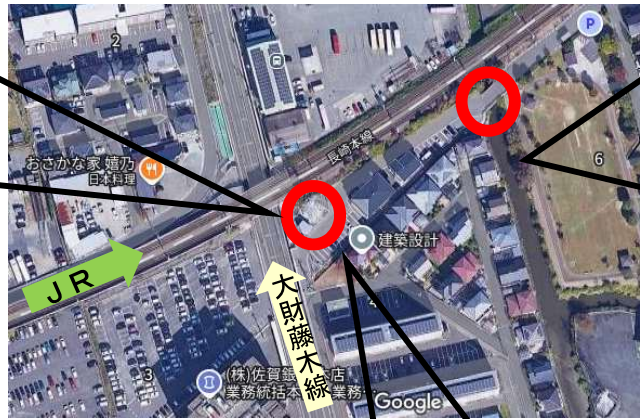
→ (事例) 大財藤木線のJ Rアンダーパス (H30.12供用開始)



最近の施策の進展等を踏まえた修正

(I) 水害対策の強化

■ポンプ設備 (脱着式排水ポンプ)



■排水設備 (圧送管φ300mm)



ポンプ設備の能力強化 (吐出量)

0.5m³/min×2台

⇒ 4.2m³/min×3台

■発電設備 (非常用電源32.0kw)



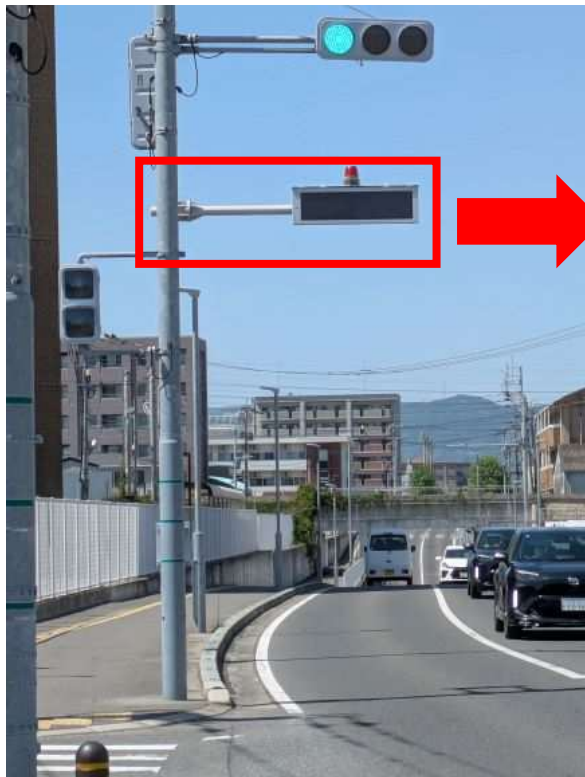
■ポンプ操作室



最近の施策の進展等を踏まえた修正

(1) 水害対策の強化

○冠水対策（通行車両へ注意喚起を行い、二次被害を防止）



▲ 表示板・回転灯

冠水注意 : 地上から 5 cm 以上

通行止め : 地上から 20 cm 以上

道路表示 ▼

冠水の目安を
道路及び壁面
に表示



最近の施策の進展等を踏まえた修正

(2) 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援

- 自治体、保健師、福祉関係者等の中で連携した状況把握の実施
→避難行動要支援者対策の強化として、関係機関と合同で
避難訓練を実施

【避難訓練概要】

日 程：令和7年3月6日（木）

内 容：台風接近を想定し、医療的ケア児（避難行動要支援者）が
自宅から避難所（エコプラザ）へ避難する

参加者：〔地 域〕自治会長、民生委員

〔事業所〕訪問看護事業者、医療機関

〔行 政〕中部保健福祉事務所、県社会福祉課、
市福祉総務課、市障がい福祉課 他

⇒ 14機関・団体、35名参加

最近の施策の進展等を踏まえた修正

(2) 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援

訓練① 避難支援員・支援機関へ支援要請



電話による
支援要請

訓練② 自宅からの避難(荷物運搬、移動)



自治会、民生委員、
事業所の方の協力に
より車へ移動

訓練③ 避難所(エコプラザ)に到着



車を降りる際は自治会、
民生委員、事業所の方
の協力あり
避難所では市職員に
よる支援

最近の施策の進展等を踏まえた修正

(2) 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援

訓練④ 振り返り

[当事者家族]

- ・実際に体験でき、足りないものや確認が必要なことがわかってよかった
- ・個別避難計画を見直したい

[地域]

- ・自分たちでできることを確認し、災害時に対応していきたい
- ・避難経路を改めて確認したい



[事業者]

- ・避難手順が確認でき、よかった
- ・地域の方と一緒にできればと思う

[行政]

- ・今回の取り組みを他の要配慮者に広げたい
- ・多くの方に参加いただけてよかった

最近の施策の進展等を踏まえた修正

(2) 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援

○自治体、保健師、福祉関係者等の間で連携した状況把握の実施

→【連携の事例紹介】

災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営について

「社会福祉協議会・佐賀災害支援プラットフォーム・市」による三者連携会議を平時から実施（月1回）。「顔の見える関係づくり」を進めており、当会議の中で様々な点の検討を行っている



R5.7～災害ボラセン設置及び活動の様子 ▲

三者連携会議の様子 ▲

最近の施策の進展等を踏まえた修正

(2) 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援

- 在宅避難者、車中泊避難者に対する支援に係る拠点の設置や、被災者支援に係る情報の提供
- ・車中泊避難の場所は指定避難所の駐車スペースを想定
 - ・車中泊避難者についても保健師等の巡回を行う
 - ・必要な情報を提供できるようにボランティアによる在宅訪問なども行う



令和6年能登半島地震を踏まえた修正

(1) 被災地の情報収集及び進入方策

○無人航空機（ドローン）、衛星インターネット等の活用

→ドローンについては、令和5年7月に発生した富士地区での土砂災害において活用

映像情報は非常に有益であり、今後も最大限活用していく

- ・市で保有するドローンを活用し、職員による情報収集
- ・県と災害時における撮影等に関する協定を締結している事業者による被災状況確認



▲ドローンにより撮影した被災状況（三瀬・川副（早津江川））▲

令和6年能登半島地震を踏まえた修正

(2) 自治体支援

- 応援職員等の宿泊場所として活用可能な施設やスペース等のリスト化
→市内のホテルや市有施設の中で調整

(3) 避難所運営

- パーティション、段ボールベッド等の避難所開設当初からの設置
→避難所開設までに準備時間がある場合はすでに実施
予め各地域においてレイアウトを決めるなどの対応を検討



令和6年能登半島地震を踏まえた修正

(3) 避難所運営

- トイレカー等のより快適なトイレの設置への配慮
 - 災害時の簡易トイレについては、想定避難者に対して50人に1基を確保済。トイレカー等は県等と連携して対応



◀ 簡易トイレ ▼



◀ トイレカーイメージ ▼



佐賀県地域防災計画の修正に伴うもの

(1) 孤立時の状況把握などについて関係機関と連携強化

○ 孤立する可能性がある地域において訓練を実施

→ 市が実施する総合防災訓練等、県や関係機関と連携して実施する

【訓練イメージ】



◀ 図上訓練



◀ 情報収集訓練



◀ 救助・救出訓練



佐賀県地域防災計画の修正に伴うもの

(2) 「避難生活支援リーダー／サポーター研修」等の 拡充

「避難生活支援リーダー／サポーター」とは、
避難所運営の基本的なスキルを修得した人材で、自治体や被災者と
ともに、避難所の生活環境向上に率先して取り組むことができる人材

→ 県や関係機関と連携して実施し、避難所の環境向上につなげる



防災・安全～安全な暮らしが日々の備えで支えられているまち～

「もしものために 備えておこう」

日々の小さな備えが 大きな安心を支えている。

何が起きても ともに乗り越える力がある。

このまちの安心は みんなの備えで支えられている。

大規模災害に備え、 対策を行っていきます



1 議事

- 市の取組について
「地域で支える水の恵みと安全」
- 佐賀市地域防災計画の修正について
- 今後の気象状況について

2 その他

今後の気象状況について

佐賀地方気象台

次長 葉山 順次 様

気象台 説明資料

佐賀市防災会議

1. 向こう3か月の天候の見通し
2. 日本の気候変動2025の紹介
3. 警戒レベルの確認
4. キキクルの紹介&使い方

令和7年5月22日
佐賀地方気象台
次長 葉山順次

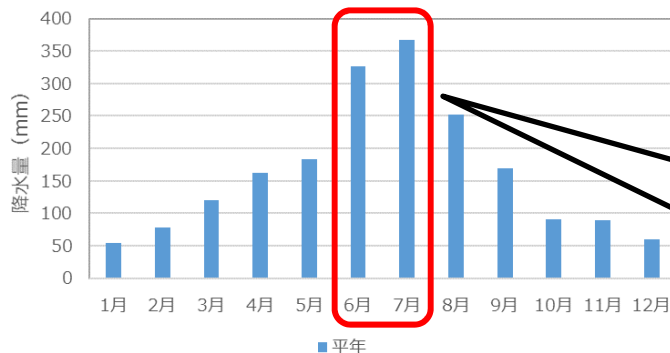
向こう3か月の天候の見通し (5月20日発表)

| | |
|----|--|
| 6月 | 平年と同様に曇りや雨の日が多い |
| 7月 | 期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い 期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い |
| 8月 | 平年と同様に晴れの日が多い |

毎年のように大雨が発生しています。

| | 6月 | 7月 | 8月 |
|-----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 気温 | 低 並 高 (%) | 低 並 高 (%) | 低 並 高 (%) |
| | 高い 10 : 30 : 60 | 高い 20 : 30 : 50 | 高い 20 : 30 : 50 |
| 降水量 | 少 並 多 (%) | 少 並 多 (%) | 少 並 多 (%) |
| | ほぼ平年並 30 : 30 : 40 | ほぼ平年並 30 : 30 : 40 | ほぼ平年並 30 : 30 : 40 |

【佐賀】月降水量の平年値



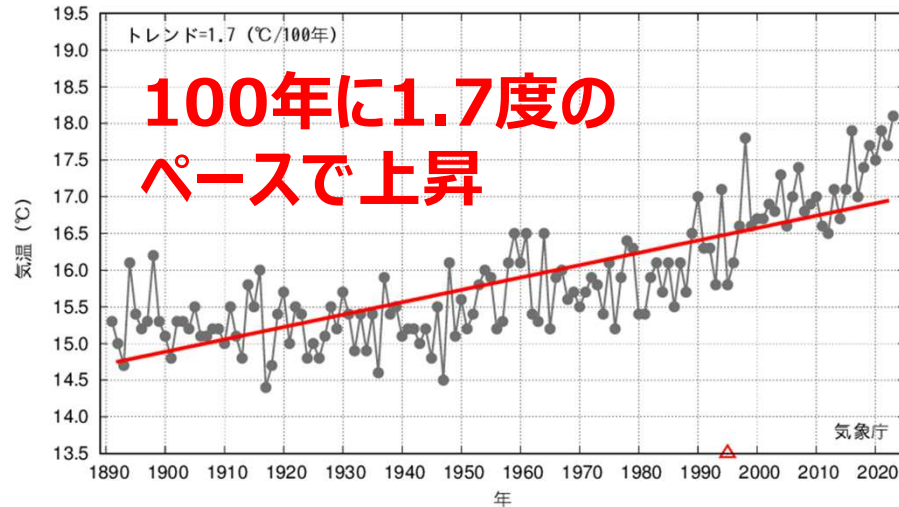
※5月15日発表の1か月予報 (5/17~6/16) では、
 ・気温は高く、日照時間は平年並みか少ない見込みです。
 ・降水量は、平年並みか多い見込みです。

佐賀の6月・7月合計の降水量の平年値は約690㍓。年降水量の1/3がこの時期に降る。(年降水量約1,950㍓)

梅雨入り：
平年6月 4日頃、昨年6月17日頃
 梅雨明け：
平年7月19日頃、昨年7月17日頃

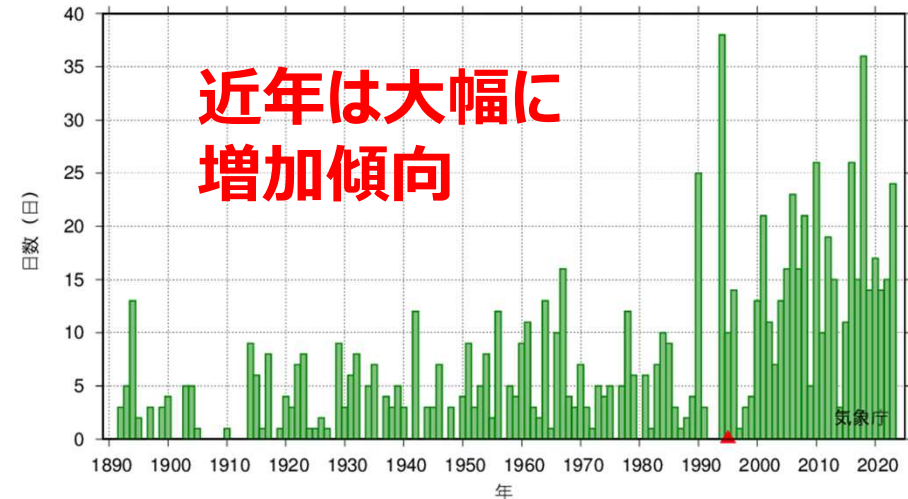
年平均気温

佐賀 年平均気温 1891-2023年



猛暑日の年間日数

佐賀 日最高気温35°C以上の年間日数(猛暑日) 1891-2023年



自然災害及び熱中症による死亡者数

| | 自然災害 | 熱中症 |
|-------|------|-------|
| 2018年 | 452人 | 1581人 |
| 2019年 | 159人 | 1224人 |
| 2020年 | 128人 | 1528人 |
| 2021年 | 150人 | 755人 |
| 2022年 | 159人 | 1477人 |
| 2023年 | 35人 | 1651人 |

出典：令和6年防災白書及び人口動態統計

これらの状況から、気象庁は環境省と協力し、令和3年から気温、湿度、輻射熱などを基に算出する「熱中症警戒アラート」を開始。熱中症の危険性に対する「気づき」を促すことを目的として発表する情報です。

- ・「日本の気候変動2025」に基づいた、都道府県別リーフレットも作成
- ・自分が住む町の気候変動を実感できるような内容

佐賀県の気候変動

気温の上昇

2℃上昇シナリオ
4℃上昇シナリオ

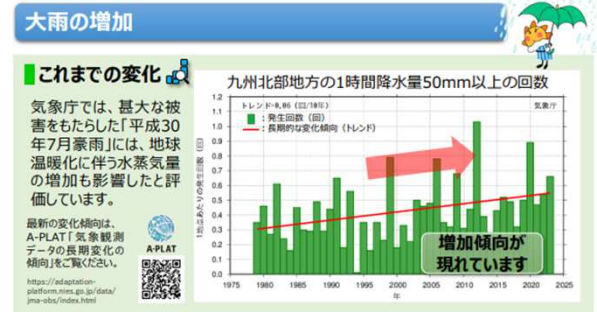
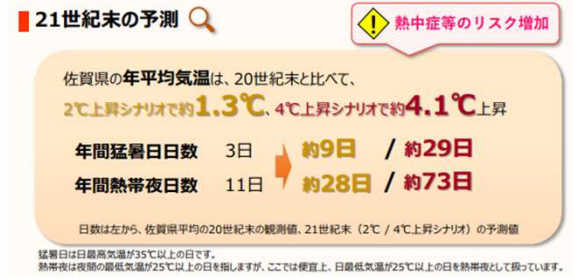
大雨の増加

海面水温の上昇

台風強度の増大

このリーフレットでは、「日本の気候変動2025」(文部科学省・気象庁)に基づき、これまでの気候の変化と将来予測に関する情報をまとめています。九州北部地方の気候の変化については、気象庁ホームページからもご覧いただけます。

令和7年3月
佐賀地方气象台・福岡管区气象台

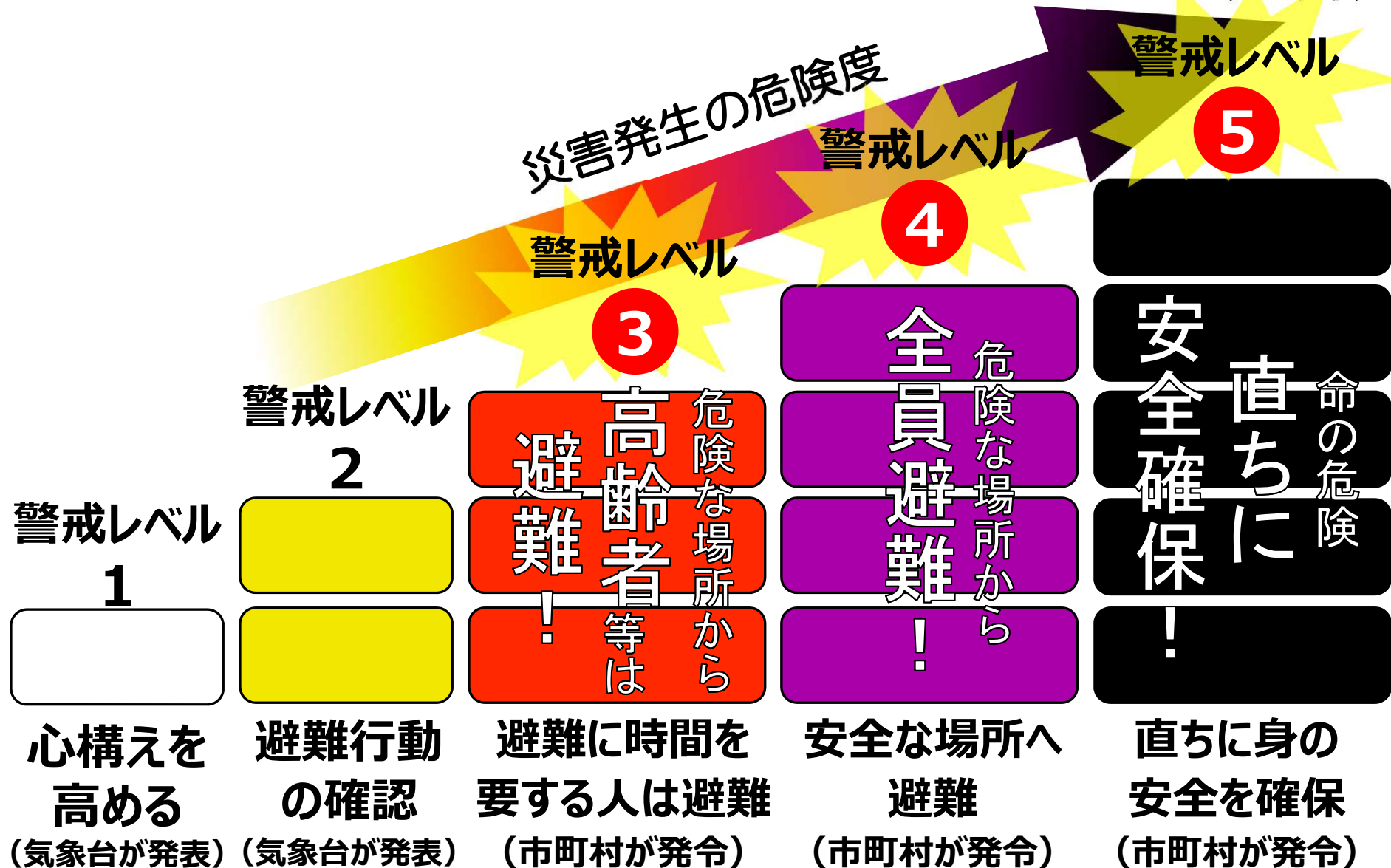


佐賀県の気候変動

日本の気候変動2025

日本の気候変動2025 解説動画

5段階の警戒レベルで避難のタイミングを伝える



[警戒レベル 5] は既に災害が発生している状況です。

段階的に発表する防災気象情報（大雨の例）

気象状況

大雨の数日～
約1日前
大雨の可能性が高くなる



大雨の半日
～数時間前
雨が降り始める



雨が強さを増す



大雨の数時間～
2時間程度前



大雨となる



大雨が一層
激しくなる



広い範囲で
数十年に一度の大雨

早期注意情報

大雨注意報、洪水注意報

警報に切り替える
可能性が高い

大雨注意報
洪水注意報

氾濫注意
情報※

大雨警報
(土砂災害)
(浸水害)
洪水警報

氾濫警戒
情報※

土砂災害
警戒情報

氾濫危険
情報※

特別警報

氾濫発生
情報※

大雨に関する気象情報

記録的短時間
大雨情報

顕著な大雨に関する
気象情報

キキクル (危険度分布)

注意

警戒

危険

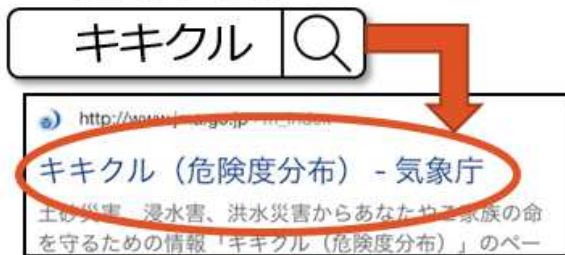
災害切迫

※松浦川、徳須恵川、巖木川、六角川、牛津川、嘉瀬川、筑後川に発表



キキクルの使い方

- ① インターネットで「キキクル」と検索し、「キキクル（危険度分布）-気象庁」を選択します。
スマートフォンは右下のQRコードを読み込みます。



- ② 見たい場所へ地図を移動します。

位置情報📍をONにすると自動で自分のいる場所が中心に表示されます。
※GPS機能と位置情報利用の許可が必要です。



- ③ キキクルは3種類あり、土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度が分かります。

丸いアイコンを押してそれぞれ切り替えます。



- ④ 色が濃くなるほど危険が高まります。
紫色までに安全な場所へ避難しましょう。

| | | | |
|-----|---|-----------------------------|------------|
| 高 | 黒 | 災害切迫 | 【警戒レベル5相当】 |
| 危険度 | 紫 | 危険 | 【警戒レベル4相当】 |
| | 赤 | 警戒 | 【警戒レベル3相当】 |
| | 黄 | 注意 | 【警戒レベル2相当】 |
| 低 | 白 | 今後の情報等に留意 (洪水キキクルの場合は水色) | |

1 議事

- 市の取組について
「地域で支える水の恵みと安全」
- 佐賀市地域防災計画の修正について
- 今後の気象状況について

2 その他

実務担当者による打ち合わせ 報告

目的

いち早く災害情報を届けるための取組。
横の連携を密にし、緊急時に連携できる
よう、良好な体制を整える。

実施状況

- ・令和5年度 2回
- ・令和6年度 4回

主な意見

○災害時に防災カメラ
で状況を確認してい
るので、現場状況が
わかるシステムは大
変有益。

○災害時の報道
(情報発信)について、
テレビ、ラジオメール
等の各媒体に合わせた
伝え方を工夫する必要である。



今後について

- いただいたご意見等を、現在
行っている市の防災DX事業
に活かし、関連システムを整
備していく。
- 様々な課題について関係機関
の方と情報共有を行い、引き
続き連携に努めたい。